会長あいさつ

東京秋工会 会長

遠藤　久志

（昭和43年電気科卒）

東京秋工会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また日頃より東京秋工会活動にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

そして母校が昨年末全国駅伝大会に出場、春には全国柔道大会に出場、その際には皆様から多大なるご支援と応援を賜り心より御礼申し上げます。

令和6年3月16日の役員会において佐々木進前会長の後任として東京秋工会の会長に選任されました。佐々木前会長は、コロナ禍の2020年に会長に就任され、4年間当会のために尽力してこられました。大変にありがとうございました。今後は名誉会長として、何かと助言をいただくことになりますが、よろしくお願いいたします。私は佐々木進前会長、三平俊悦元会長、歴代会長が築かれた伝統ある東京秋工会を一層発展すべく一生懸命頑張ってまいりますのでご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

☆自己紹介

私の出身地は八郎潟の東、南秋田郡井川町です。昭和40年4月秋工電気科に入学、昭和43年3月卒業いたしました。部活動は音楽部（ハーモニカバンド）で3年間アコーディオンを弾いておりました。

☆活動方針

積極的に推進してまいります。

① 同窓会組織の活性化・充実
② 広報活動の充実
③ 会員相互の親睦・業務上の情報交換の推進
④ 母校の発展の寄与
⑤ 財政基盤の確立
⑥ 他校との交流・親睦
⑦ 秋田ふるさと応援団、秋高連の支援協力

特に同窓会組織の活性化については、次世代を担う新規役員の積極的な登用に努めてまいります。当会会員の構成は日本の高度成長期を支えた71才以上の会員が71%を占めております。

令和2年の個人情報保護法により50才以下（5%）の会員掌握が非常に困難になっています。61才～70才（16%）の会員の皆様にいかに諸活動に参画していただけるかが喫緊の課題です。工夫をしながら諸活動を推進してまいります。

☆今年度の第82回「金砂健児の集い」

今年は母校創立120周年の佳節の年であります。本年の11月2日（土）にはアルカディア市ヶ谷において、「金砂健児の集い」（総会・講演・懇親会）を開催いたします。

「講演」は、物作りで日本の産業界を支えた象徴として母校OBの船木政秋氏、テーマ「秋田国家石油備蓄基地」を予定しております。

☆地区懇親会

6月にコロナ禍で開催できなかった「地区懇親会」を4年振りに地区長を中心に8地区（群馬、栃木、茨城、千葉、埼玉、東京23区、東京多摩、神奈川）で開催予定です。延べ60名余りの会員が参加し情報交換、親交を深める予定。

☆東京秋工会の活動

本会の主な活動は、年8回の定例役員会で事業計画の審議・推進・報告及び年1回の「金砂健児の集い」（総会・懇親会）・年1回の会報KANASAの発行です。

会報に関しては嵯峨良平編集長がそれぞれの原稿を取り纏め校正、印刷を経て作成され、毎年役員が一同に会して約1650部の発送作業を行い、会員の皆様に送り届けています。

当会のホームページは赤川均副会長を中心に運営されており、リニュアールされた画面が非常に見やすくなっています。

各同好会（ゴルフ、写真、民謡、詩吟、囲碁、史跡散策）が活発に活動しています。

特に、詩吟同好会は本年10月に秋田市で開催される母校創立120周年式典で詩吟を披露予定です。

☆おわりに

東京秋工会を更に発展させるために役員一同なお一層の努力をしてまいりますのでご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

会長退任のごあいさつ

東京秋工会 前会長

佐々木　進

（昭和40年採鉱科卒）

同窓会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、2020年より東京秋工会の会長を務めてまいりましたが、本年3月の役員会において退任させていただきました。短い間ではございましたが、在任中多くの役員並びに会員の皆様のご協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

また、当初からコロナ禍でありましたがどうにか「総会・金砂健児の集い」を開催することができ、昨年は念願であった「母校訪問」もかない、楽しい時を過ごすことができました。心より感謝申し上げます。今後は体調に気を付けながら、同窓会の一員として東京秋工会を支援していきたいと思います。

東京秋工会の益々の発展をお祈り申し上げ、簡単ではございますが、退任のご挨拶とさせていただきます。